

ジャワ中部地震

「被災者のために尽くしたい」

インドネシアのジャワ島中部地震で、28日に岡山空港を出発した国際医療援助団体「AMDA」(本部・岡山市櫛津)の調整員2人は「被災者の生命のために尽くしたい」などと話した。【若狭幸治】



出発前に本部職員と打ち合わせをする館野調整員(左)と
畑山調整員(中央) 〓岡山市の岡山空港で

調整員2人を派遣

AMDA 募金呼びかけも

出発したのはいずれも岡山市在住の本部職員、館野和之調整員(43)と畑山ゆかり調整員(31)。現地でAMDAインドネシア支部の医師らと多国籍医師団を編成する。

2人は包帯や消毒液など計約20キの医療消耗品を持ち、同日午前9時45分発の大韓航空機で岡山空港を飛び立った。館野調整員は出発前、「現地の病院がどんな状況にあるのか気掛かり。ニーズを正確にとらえたい」と話した。

AMDAインドネシア支部から本部に入った情報では、被災地では整形外科や麻酔科など外科的手術の需要が高まっている。近く同支部から医師

や看護師を追加派遣する予定。

AMDAは募金を呼び

かけている。郵便振替で通信欄に「インドネシア地震」と記入し、口座番号01250・2・40709(口座名「AMD A」)に振り込む。